

# あなたと市議会

6<sup>月</sup>定例会  
No. 59 9<sup>月</sup>  
令和元年7月15日号  
3<sup>月</sup> 12<sup>月</sup>



## CONTENTS

6月定例議会ピックアップ	2～3
一般質問	4～7
委員会審査報告	8～10
ぎかいトピクス	11
シリーズ Y8・議会の主な動き	12

賛否が分かれた議案と審議結果

・この他の議案は全員賛成により可決されました。  
○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※齋藤光司議長は採決に加わりません。

案件名	会派・議員名	議決結果		採決		採決	
		原可	案決	原可	案決	採決	採決
横手公園スキー場の存続に関する陳情9号							
横手公園スキー場の存続に関する陳情7号(継続審査)							
横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する条例(さくら荘)							
横手市大雄ふるさとセンター設置条例の一部を改正する条例(ゆとりおん大雄)							
横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっがる」設置条例の一部を改正する条例							
表決数		賛成 13	反対 10	賛成 13	反対 10	賛成 18	反対 5
新風の会	青山 豊	●	●	●	○	○	○
	加藤 勝義	●	●	●	○	○	○
	奥山 豊和	●	●	●	○	○	○
	佐藤 誠洋	●	●	●	○	○	○
	高橋 聖悟	●	●	●	○	○	○
	木村 清貴	●	●	●	○	○	○
市民の会	山形 健二	○	○	○	●	●	●
	大日向香輝	○	○	○	●	●	●
	菅原亀代嗣	○	○	○	○	○	○
	菅原 正志	●	●	●	○	○	○
	齋藤 光司	-	-	-	-	-	-
	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	○
さきがけ	寿松木 孝	●	●	●	○	○	○
	播磨 博一	○	○	○	●	●	●
	塩田 勉	○	○	○	○	○	○
新政会	佐々木喜一	○	○	○	●	●	●
	遠藤 忠裕	○	○	○	●	●	●
	小野 正伸	○	○	○	○	○	○
	佐藤 清春	○	○	○	○	○	○
本共産党	鈴木 勝雄	欠	欠	欠	欠	欠	欠
	立身万千子	●	●	●	○	○	○
公明党	土田百合子	○	○	○	○	○	○
みらい	高橋 和樹	○	○	○	○	○	○
新緑会	本間 利博	●	●	●	○	○	○

請願の審査結果

請願1件が審査され、次のような結果になりました。

継続審査

○幼児教育無償化に伴う給食材料費に関する請願  
(横手市社会福祉協議会保育所経営者協議会会長 若松 義十氏 他1名)

陳情の審査結果

陳情2件が審査され、次のような結果になりました。

採決

○横手公園スキー場存続に関する陳情書(陳情7号)  
(横手市スキー協会 会長 佐々木 壽一氏 他2名)  
○横手公園スキー場存続に関する陳情書(陳情9号)  
(横手シニアスキークラブ「雪の華会」 会長 菅谷 理市氏)

審査のポイントはここ!

●料金値上げによる、今後の収支の見通しは?赤字額はどれだけ圧縮されるのか?  
●「公共温泉の役割は終わった」とする根拠と、設置条例における設置目的との整合性は?  
●事前のパブリックコメントや利用者説明会では、施設の修繕を望む声が多い。料金の値上げによりどの程度の修繕が可能か?  
●公共温泉民間譲渡の検証と、今後の市直営施設の方針は?

議会の意思は?

★委員会では否決  
産業建設常任委員会の採決では、公共温泉3施設の値上げに関する条例案に対し、賛成3、反対3の可否同数となり、委員長裁決により「否決すべきもの」と決定しました。  
★本会議では可決  
本会議では、それぞれ賛成・反対の立場から討論がありました。  
採決では、賛成13、反対10(欠席1、欠席1、議長を除く)により原案のとおり可決され、公共温泉3施設は、本年10月1日より利用料金の値上げが実施されます。(奥山 豊和)

議案pick up

- 消費税率の引き上げに伴う条例改正  
10月1日より、消費税率8%から10%への改定が予定されていることから、水道料金や公共財産等の使用料が引き上げられます。
- 工事請負契約の締結  
●消防署西分署建設(雄物川町薄井) 2億3544万円(建築本体)  
●十文字地域統合小学校建設 36億612万円(建築本体、電気設備、機械設備)
- 財産の取得  
●各地域局に配備するロータリ除雪車など  
●高規格救急自動車  
●軽積載車(小型ポンプ用)などを購入
- 横手市地域種苗支援センターの指定管理  
11月1日より、現在の実験農場(大雄地域)は種苗供給に特化され、JA秋田ふるさとの運営により園芸作物の振興を図っていきます。



可決

僅差により、公共温泉の利用料金値上げ議案

他、市長提案の全議案

6月定例議会は、6月3日から6月19日までの日程で開催されました。市民生活に密着するさまざまな議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。

公共温泉3施設の利用料金値上げへ

市直営または第三セクターにより運営されていた9つの公共温泉施設は、平成28年3月に示された「公共温泉の在り方・再編方針」に基づき、平成30年4月1日、6施設が民間企業へ無償譲渡されました。

譲渡が叶わなかった3施設(ゆっがる・ゆとりおん大雄・さくら荘)は、3年後をめどに民間譲渡を模索しつつ、その間は市直営にて運営することとしていました。

市としては、このまま慢性的な赤字体質を放置し続ける訳にはいかないことから、運営コストを圧縮し、民間温泉施設の利用料金等との均衡を図るために、10月の消費税率引き上げに合わせて、3施設の利用料金を値上げする条例改正案が提案されました。

討論 公共温泉3施設の利用料金値上げについて  
～ゆっがる・ゆとりおん大雄・さくら荘～

**賛成**

山形 健二議員

10月に消費税率の増税が見込まれていること、合併以来これまで料金が据え置かれてきたこと、受益と負担のバランスを考えればこの案は妥当。当局には今後も市民に対し丁寧な説明を望む。

**反対**

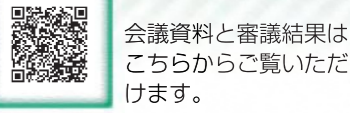
奥山 豊和議員

民間譲渡した施設への空調設備工事費負担金について、「余りが生じても返金は不要」というルールは、公金を支出している認識、コスト意識が著しく欠けていると言わざるを得ない。

公共温泉3施設を今後どうするのか、市長自らが判断を先送りしていることよって招いた赤字額の増加を責任転嫁し、値上げを提案するのは理解に苦しむ。

また、初めから5〜10%利用者が減ることを前提とした料金の値上げは、「市民の交流や健康増進」を目的とするそれぞれの設置条例の理念に反するものと考えられる。

温泉愛好者からは、切実に施設の修繕を求められているのにも関わらず、料金を値上げした分をどのように修繕に充てるのかを想定していないのは市民不在で根拠に乏しい提案だ。よって反対する。



会議資料と審議結果はこちらからご覧いただけます。

Q 早期に市税等のコンビニ納付導入を

A 納付のメリットを確認し判断する



土田 百合子議員



●市税等のコンビニ納付について
問 市税等の納付方法の多様化は、さまざまな面で市民の負担軽減につながる。また、事務負担の軽減によるメリットも期待できるが、導入の検討はしているのか。

答 コンビニやクレジットカード等での納付について協議を進めている。また、使用料や、負担金も対象にできないか調査している。

●電子母子健康手帳導入について
問 スマートフォン等で、予防接種や、定期健診の通知、健康診断のデータや発育状況を家族で共有できる電子母子健康手帳は、子育て支援にもなるため提案する。

答 現在、広く利用されているアプリにはまだ改善すべき点がある。課題の解決を待つて導入について判断する。

●液体ミルクの備蓄について
問 乳児用液体ミルクを災害備蓄



災害時の活用が期待される「乳児用液体ミルク」

用に検討してはどうか。
答 粉ミルクと比べて保存期限が短いことや、価格が高価であることなど課題もあるが、備蓄品として試行的に導入していく。
●幼児教育・保育無償化について
問 副食費の全額助成と給食材料費の徴収の考えについて。

答 副食費の助成については県の制度を見極めながら検討する。なお、副食費の徴収については、法律上、保育所と利用者間の私債権となることから、施設で行っていただくことで理解いただきたい。



築30年を経過した横手市役所本庁舎

●施設展望について

問 市の人口は、今後20年で20万8000人減少の見込みだ。これを踏まえた施設展望なのか伺う。

答 財政シミュレーションは、現在の財政見通しを基に推計したもので、詳細な将来人口推計を反映したものではありません。

●皇室関係への公費支出について
問 私は皇室を尊重する立場だが、世の中にはさまざまなイデオロギーと価値観があることは否定できない。その中で、陛下ご退位、新陛下ご即位の日に、自治体の中で横手市だけが新聞広告に掲載した経緯を伺う。また市議会は全く承知していない中で併記した経緯を伺う。

答 平成9年上皇・上皇后陛下、26年に陛下が増田にお越しいただいたことへの感謝とお礼をさせていただきたく掲載した。併記について

●市役所組織の配置について
問 本庁舎も築30年を経過した。分散している組織を将来どうするつもりか。全体像を示すべきだ。

答 本庁舎の耐用年数を50年と見ると、いよいよ見据えるべき課題にあると認識している。

Q 人口減少を見据えた施設展望なのか

A 将来人口推計を反映したものではない



木村 清貴議員



Q ひきこもり状態にある方の支援体制は

A 関係機関と連携し支援を行っている



菅原 正志議員



●ひきこもりへの対応について
問 ひきこもりの、いわゆる8050問題について、実態を把握しているのか。

答 民生委員からの情報や介護支援等により把握するケースが多いが、家庭環境などデリケートな要因も多く、実態数は定かではない。

●ひきこもりの支援等はどうか。
問 ひきこもりの相談窓口

答 「くらしの相談窓口」が中心となり、関係機関等と連携して相談者の自立に向け、伴走型の支援を行っている。また、各地域局の市民サービス課や社会福祉協議会でも相談を受け付けており、今後

も相談先等、支援を必要とする方が必要な支援を受けられるよう、情報提供を行う。

●さらび空調設備工事について
問 施工方法変更などの説明時期や、内容は適当であったか。



ひきこもり支援の中心となる「くらしの相談窓口」

答 施工方法は変更となったが、冷暖房とも従来の機能を回復していると判断している。総事業費については完成届が提出されるまで未確定だったことから、協議から数カ月報告できなかったことを深くお詫びする。

●今後のこの事業の方向性は。
問 今後のこの事業の方向性は。
答 事業の見直しをする際は父親などの申請についても検討する。
問 なぜ申請が必要か。出生届が出された時点で支給できないか。
答 商品券の管理上難しい。今のやり方でいきたい。

●横手市出産祝金支給条例の運用について
問 最近の支給状況はどうか。
答 市の人口増と出産を奨励し、子育てを支援する目的で、分娩をした母親に対して3万円の共通商品券を支給している。出生数に対して毎年10人程が要件に合わず支給から漏れている。

●6カ月以上前から居住しているなどの要件があるが、その理由は何か。
答 不正受給を防止することなどから要件を定めている。

●特に転入者に厳しい要件となっている。早期に見直すべきはなにか。
答 見直しをはかる時期にきている。早急に検討する。

●条例上は母親にしか支給しないことと解釈されるが、父親にも
問 条例上は母親にしか支給しないことと解釈されるが、父親にも

出産祝金支給条例の要件緩和が待たれる(市ホームページより)



出産祝金支給条例の要件緩和が待たれる(市ホームページより)

Q 出産祝金支給要件の見直しが必要でないか

A 緩和に向けて前向きに検討する



播磨 博一議員





高橋聖悟議員



Q 駅前再開発事業の市公益施設はなぜ図書館か

A 集客できる施設として捉えている

●横手駅東口再開発事業について

問 公益施設を図書館とする背景は何か。

答 全世代が利用できる施設、公共交通の起点、横手図書館の老朽化を考慮した結果だ。

問 市費投入の意義、公共交通利用者や市民の動態、中央図書館とする意義、駐車場問題などを考慮したのか。図書館なら利便性や財政面でも他に適地があるのでは。

答 図書館は集客できる施設として考えている。行ってみたいと思われるものにし、再開発の中で有効となるようにしていきたい。

●温泉施設の値上げ改定について  
改定による今後の見通し、収支計画、そしてその根拠は。

答 シミュレーションはした。公共料金の値上げ、消費税等を勘案し、1.5倍の目安ということだ。

問 赤字を埋める基準や住民負担



立身万千子議員



Q 国保税の市民負担はできる限り軽減を

A 国・県の動向を見つつ財政安定化を図る

●国民健康保険について

問 一般会計から国保会計へ法定外の繰り入れをして市民負担を抑えるべきと考えるが、今年度も繰り入れないことを提案した市の方針は。

答 当面は、繰越金を財政調整基金に積み立てられる状況と判断し、法定外繰り入れは実施しない。

問 協会けんぽとの格差解消と子育て応援を目的として、子どもの均等割の軽減を再度提案する。

答 全国知事会を通して国に要望しており、一義的には国が行う施策と考え、国・県の動向をみる。

問 保険者努力支援制度を有効に活用し、市独自の健康増進施策等を展開するべきと考えるがどうか。

答 糖尿病重症化予防事業に重点を置き、特定健診の受診勧奨と新たな保健指導を行う。新規に国保健康世帯推進事業などで健康増進



大森病院内保育所「森のこハウス」

と国保財政の安定化に努める。

●幼児教育・保育無償化について

問 認可外保育施設の認可化を、行政はどう支援していくか。

答 認可外施設も無償化の対象となり、基準を満たさなくても5年間の経過措置があるため、専門的見地から指導監査を実施していく。

●その他の質問

給食の副食材料費の実費徴収で生じる問題をどう解決するか  
保育士の処遇改善について

●公共温泉施設について

問 民間への無償譲渡後に実施した空調設備機能回復工事の状況は。

答 市が想定した施工方法とは別手法で実施されているが、空調機能は設計どおりに回復している。

「雄川荘」と「えがおの丘」は約700万円から増しに約1000万円。

「さわらび」は、3月の工事完成まで総事業費が未確定だったことから、議会に報告できずお詫びする。

問 公募要項には現状引き渡しに明記されているものの、譲受者に大きな負担を強いることが利用者の利益に結び付くのかという判断基準により、市は工事費負担金を支出している。かたやかなり増しになり、さわらびは1000万円強が宙に浮いているという公金の支出に公平性、公益性はあるのか。

答 支出目的である空調機能の回復手段は、会社側の裁量を認めて

A 特に問題はないと考える

Q 公金の支出に公平性と公益性はあるのか



民間譲渡を模索する公共温泉3施設(ゆとりおん大雄)

いる。支出目的の達成により、市が想定した総事業費と相違があることに特段の問題はないと考える。

問 余った公金は利益供与ではなく今後の維持管理費という認識か。

答 企業の判断により、今後の維持管理費や修繕に有利なスタイルを選んだことはやむを得ない。

問 15年スパンにおける総額コストに大きな差はないと言うが、維持管理費を市が負担するという解釈は、公募要項のどこにあるのか。

答 一切そういう考えはなく、今後市が修繕を負担することはない。



奥山豊和議員



より開かれた市議会へ

政務活動費の領収書を公開いたします

横手市議会では、透明性が高く、より開かれた議会を目指し、政務活動費の支出の対象となった全ての経費について、今後平成30年度分から領収書等をホームページで公開します。



政務活動費とは

議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、横手市では規定に基づき、議員に対して月額1万円を交付しています。

なお、年度末において、交付された政務活動費に残額があった場合は、これを返還することになっています。



園芸作物生産の維持拡大、地域農業の確立に向けて設置される「横手市地域種苗支援センター」

産業建設常任委員会

温泉施設の値上げは“否決すべきもの”に

横手市議会ホームページ産業建設常任委員会のページがご覧いただけます。



◆令和元年度一般会計補正予算
問 都市計画道路八幡根岸線の進捗状況はどうか。
答 今回の補正予算により建物調査を前倒しで完了できるようになる。県からは、令和5年度中の開通を目指すと聞いている。用地買収の順序や残地への対応など県と協議しながら検討する。

◆公共温泉3施設設置条例の一部を改正する条例
問 なぜ、10月からの値上げなのか。
答 消費税増税により運営経費がかなり増しになる。また、3施設は市町村合併前から料金改定をしておらず、消費税が8%になった時には実質値下げとなった。それらを踏まえ10月の増税と合わせて改定することとした。

問 今回の料金改定により、赤字額はどれだけ圧縮されるのか。
答 現在と同じ利用者数の場合、年間約2200万円の収入増、利用者数5%減少の場合は1600万円の収入増、利用者数10%減少の場合でも900万円の収入増と試算している。

委員より、反対の立場で討論が



みんなでいっしょにおいしい給食(たいゆう保育園)

厚生常任委員会

幼児教育無償化に関する請願は“継続審査”に

横手市議会ホームページ厚生常任委員会のページがご覧いただけます。



◆横手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
問 法定軽減のうち、7割軽減には変更があるのか。
答 中低層の所得者を対象にした改正であるので、7割軽減についての改正は行われぬ。

◆平成30年度横手市後期高齢者医療特別会計補正予算
問 昨年、保険料の9割軽減を廃止しているが、被保険者の実態把握と納付相談にはどのように対応しているのか。
答 滞納している方については、納付相談を実施して対応している。後期高齢者医療に関しては、短期被保険者証の交付を受けている方はいるが、資格証明書の交付を受けている方はいない。

◆令和元年度横手市国民健康保険特別会計補正予算
委員より、賛成の立場で、「国保税を据え置きにし、いろいろな工夫をしたということには賛成したい。ただ、例えば国保健康世帯推進事業にしても、ご褒美をあげるといこととで市民が一生懸命頑張ろうとするのか懸念がある。それよりも国保税

を下げれば助かるという人達がたくさんいる中で、もうひとつ踏み込んで来年に向けて施策を検討していただきたい」との討論があった。起立採決の結果、起立全員により可決すべきものと決定した。
◆幼児教育無償化に伴う給食材料費に関する請願
※参考人・紹介議員、市当局とそれぞれ質疑を行った。
問 参考人の話では「無償化した場合の市の負担は従来とあまり変わらないのでは」ということだがどうか。
答 県の助成案で行った場合、ほぼ同程度の負担になるか、若干市の持ち出しが増えるかもしれない。まだ明確ではない。
問 保育園が実費徴収した場合、「私債権」となることについての市の考え方は。
答 国の案でいくと、私立の場合は施設で徴収すべきということになっている。それを自治体が徴収するということになると、その取り扱いや滞納者が出てしまった場合の整理が難しい。
問 県の説明会があるということだが、それを聞かないとまだわからなかった。
起立採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により否決すべきものと決定した。

◆財産の取得(ロータリ除雪車等)
問 農業機械や軽トララックもリースする時代である。同様にリースすることは可能か。
答 購入であれば国の交付金の対象になるが、リースだと対象にならない可能性がある。限界まで市が使い切り、その後も払い下げをするなど、リースよりも有効に利用できていると考える。

◆横手市地域種苗支援センターの指定管理
問 育苗は地域種苗支援センターに特化することであったが、園芸振興拠点センターにも立派な育苗ハウスがある。どのような活用を考えているのか。
答 地域種苗支援センターは、JAの部会員または農業法人向けに優良苗を大ロットで供給するための施設であり、園芸振興拠点センターは、実証栽培や研修生による仮想経営を少数多品目で行うもの。目的が異なり、線引きをしている。

◆横手北スマートインターチェンジ現地視察
問 農家と苗屋さんには強固な信頼関係がある。市が供給施設を設置することで民業圧迫にならないか。
答 民間の種苗農家とネットワークを組みながら、連携して地域種苗を確立していくこと、JAでも既に協議を始めている。価格的にも足並みをそろえた形で取り組んでいくものと聞いている。



横手北スマートインターチェンジ建設工事現場を視察



大森病院の院内保育所「森のこハウス」を視察

7月10日に内閣府や厚生省、文科省も来て説明がある。その場で出た要望については、後で問答集に追加していくことになっている。
問 説明によっては、制度の詳細が変わっていく可能性もあるということか。
答 制度はできているが、運用面はしっかりと聞いてみないとわからない。委員より、「7月10日に国、県の説明会がある。それによって明らかに、前に進む条件も考えられるため、今回は継続審査にしたい」という意見があり、採決により継続審査とした。

# 行政視察へようこそ!

～横手市のこんなところが注目されています～

さまざまな行政課題解決のため、先進的な取り組みを行っている全国の自治体を実際に訪問し、調査・研究を行う「行政視察」。横手市議会でも、全国から地方議会の行政視察を受け入れています。

## 平成30年度 受け入れ実績

### 31 議会 (221人)

北は岩手県紫波町議会 南は沖縄県うるま市議会



◀食と農のまちづくりについて視察する沖縄県うるま市議会のみなさま



健康の駅推進事業について視察する神奈川県大井町議会のみなさま

## 視察テーマトップ3

- 1 健康の駅推進事業について……………5件
  - 1 食と農からのまちづくりについて…5件
  - 3 スポーツによるまちづくり  
(スポーツ立市条例について)……………4件
- その他
- ◇学力向上の取り組みについて
  - ◇共助組織による有償旅客運送の取り組みについて
  - ◇園芸メガ団地について など

## 横手市議会関連の視察テーマ

- ◆タブレット端末導入について
- ◆議会改革の取り組みについて
- ◆議会の広報活動について

## 全国市議会議長会表彰

令和元年6月11日に開催された「第95回全国市議会議長会定期総会」において、市議会議員として長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績により、2人の議員が表彰されました。表彰された議員は次の方です。

### 議員20年以上特別表彰

菅原 恵悦 議員

### 議員15年以上表彰

佐藤 誠洋 議員

### 感謝状授与

齋藤 光司 議長

「国と地方の協議の場等に関する特別委員会」委員としての功勞により、感謝状が授与されました。



(左から) 齋藤 光司議長 菅原 恵悦議員 佐藤 誠洋議員

## 総務文教常任委員会

# 横手公園スキー場の存続についての陳情は“採択すべきもの”に

横手市議会ホームページ総務文教常任委員会のページがご覧いただけます。



横手公園スキー場でのスキー授業(平成29年度)の様子

- ◆令和元年度度一般会計補正予算
- 問 プレミアム付商品券事業の対象範囲拡大にともない、対象者は何人くらい増える見込みか。
- 答 毎月の出生数の状況からみて、全体で120人ほど対象者が増えるのではないかと想定している。
- ◆横手市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例
- 問 軽自動車の環境性能割について、税率の軽減措置により市税が減収となった場合、国からの措置はあるか。
- 答 今回の税制改正において減収となった部分は、国から地方特例交付金により全額補てんされる。
- ◆工事請負契約の締結について(十文字小学校建設・電気・機械工事)
- 問 完成まで数年かかる。その間の各種単価の変動により、建設費や設備工事費がかなり増しすることも考えられる。物価スライドによる契約変更への対応はどうなっているか。
- 答 労務単価や複合単価等も年々上昇している。請負業者の負担が大きくなるようであれば協議のもと契約変更も考えている。必要に応じて、工程等も確認しながら物価スライド条項の適用を検討する。
- 問 以前から新校舎にエアコンを設置して欲しいという要望があるが、設置が可能な設計になっているのか。
- 答 将来的な設置工事を見据え、配管用ダクト等については開校時には設置済みというような状況にしたい。
- ◆横手公園スキー場存続についての陳情2件
- 問 3月定例議会で説明が不十分なのではないかとということから継続審査とした経緯がある。それ以降どのような対応をしてきたのか。
- 答 連名で陳情を出された3団体の代表の方々との意見交換を行った。市側からは、安全性確保や復旧時間、財政面を総合的に判断し、廃止せざるを得ないことを説明した。陳情者の方々からは「課題は認識するが、北側の緩斜面は影響がないように思える。スポーツ少年団の活動場所が天下森スキー場がなく、移動が保護者の負担となっていることから、近場にスキー場があることが大事と考える」などの意見があった。
- 問 広い横手市にスキー場が1カ所しかないことが果たして妥当か。
- 答 複数のスキー場を抱えて、将来的に継続して運営できるのかという



統合後の十文字小学校完成予想図

- と、なかなか難しいものがある。
- 問 天下森スキー場でのスキー教室に、何か問題はなかったか。
- 答 早めに各学校に調査を行い、かち合わないよう調整に努めた。休憩所が混雑したものの、それほど大きな混乱はなかったようだ。
- 委員より、子どもと遊べるファミリリーグレンデのような場所への配慮は必要。横手市財産経営推進計画(FM計画)もあるが、単に同様の施設を一つに集約するという話と市が置かれている状況は違つものかもしれない。今一度見直しをかけるべきだとの意見があった。
- 起立採決の結果、いずれも賛成多数により採択すべきものと決定した。

総務文教常任委員 菅原 恵悦・加藤 勝義・大日向 香輝・高橋 聖悟・塩田 勉・佐々木 喜一・遠藤 忠裕・土田 百合子

議

会

の

主な

動き



4月

- 4日 東北市議会議長会定期総会（～5日／秋田市）
- 8日 産業建設常任委員会協議会
- 11日 FM番組収録
- 16日 タブレット端末操作研修会
- 17日 産業建設常任委員会協議会
- 24日 議会運営委員会、議会改革推進会議、  
全員協議会（行政課題説明会）  
広報広聴委員会広報分科会  
**議員特別研修報告会**

各自の資質向上と自己研鑽のために行った研修について、情報を共有するための報告会を開催しました。



- 26日 広報広聴委員会広聴分科会

5月

- 9日 FM番組収録
- 10日 産業建設常任委員会協議会、  
総務文教常任委員会協議会
- 13日 FM番組収録
- 15日 鹿児島県始良市議会行政視察受け入れ
- 16日 愛知県小牧市議会行政視察受け入れ
- 21日 広報広聴委員会広聴分科会
- 24日 市議会災害連絡訓練
- 27日 議会改革推進会議
- 28日 正副委員長会議、  
全員協議会（議案説明会、行政課題説明会）、  
議会運営委員会、広報広聴委員会広報分科会  
**チャレンジデー参加（スポーツ議員連盟）**
- 29日



丸亀市との対戦となったチャレンジデー。体操や、サイクリングなどで参加し、勝利に貢献しました。

- 31日 タブレット端末操作研修会

6月

- 3日 市議会6月定例議会（～19日）
- 6日 広報広聴委員会広報分科会
- 10日 議会運営委員会、タブレット端末活用推進会議
- 11日 広報広聴委員会、  
全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 12日 議会改革推進会議
- 17日 正副委員長会議、議会運営委員会  
**スマートインターチェンジ整備促進議員連盟役員現地視察**
- 18日 広報広聴委員会広報分科会
- 19日 全員協議会（行政課題説明会）
- 20日 由利本荘市議会行政視察受け入れ
- 25日 広報広聴委員会広報分科会
- 27日 広報広聴委員会広報分科会

工事の進捗状況を視察。関連予算が増額補正となった理由等について、担当者から説明を受けました。



表紙の写真

横手明峰中学校体育祭の様子（撮影：加藤 勝義 委員）

シリーズ Y8 ワイエイト vol. 5

ひろく 拓 ～挑め455の輝石～ きせき

横手明峰中学校生徒会執行部

私たち横手明峰中学校は、今年で開校8年目となります。今年度は、10年目に向けて新しいことに仲間と共に挑戦しようという思いを込め、「拓 ～挑め455の輝石～」という生徒会テーマを掲げました。

昨年度は、1～3年生の縦割り学級ごとに横手明峰中学校区の3小学校と雄物川高校にあいさつ運動に出向いた他、地域の伝統芸能を学び、その成果を学校祭で発表するなど、地域とのつながりも大切にしてきました。

今年度はこれらの活動にプラスし、全ての委員会が集会を開催したり、私たちが目指す横手明峰生の姿をまとめた「明峰PRIDE宣言」の改正に取り組むなど、新たなことに挑戦していきます。そして、「一步前へ 一段上へ」の合言葉を胸に、これまで以上に素晴らしい横手明峰中学校をつくり上げていけるように、全校生徒が力を合わせて切り拓いていきたいと思ひます。



横手明峰中学校生徒会執行部の皆さん

編集後記

令和となり最初の議会だよりをお届けします。議会だよりは広報委員が表紙写真や割付、デザイン、校正も含めて直接編集をしております。今後も市民の皆さんからのご意見を参考にしながら、さらに分かりやすく、そして読んでいただける紙面づくりを進めてまいりたいと思ひます。（加藤 勝義）

◆広報広聴委員会広報分科会◆

分科会長 奥山 豊和 副分科会長 加藤 勝義  
委員 播磨 博一 委員 高橋 聖悟  
委員 土田百合子 委員 山形 健二



横手市議会公式 Facebook



いいねしてね♡

